

**演 題： 「広告表現、ステレオタイプの向こう側へ。特別編」
-ジェンダー、レイシャル、ルッキズム、エイジズムを考える-**

講 師： 川名 周氏 ・ 日本広告審査機構(JARO) 事務局長

日時：**2024 年 2 月 6 日(火)**
15 時～16 時 20 分

対象：協会会員社に属する方はどなたでも受講可能

費用：**無料**、事前申し込み制

形式：ウェビナーによるオンライン

申込：下記 URL でお申込みください、先着 1000 名
1 月 31 日締切

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_KAPrJ-guS3qD4Lya3IFgQg



◆セミナーの概要

日本広告審査機構（以下 JARO）には、広告・表示に対する苦情・ご意見・ご相談が年間 1 万件以上寄せられています。その中で、ジェンダー、レイシャル、ルッキズム、エイジズムといった領域の表現に関するものが毎年 200 から 300 件含まれております。

そのような状況を踏まえて JARO では「広告表現、ステレオタイプの向こう側へ。」と題した会員社向けセミナーを 2019 年より、3 回ほど行って参りました。今回は雑誌協会員者・雑誌広告協会員者の皆様向けに「特別編」と銘打って、過去行ったセミナー内容に最新のトピックを加えた形でお届け致します。

広告表示に対しては景表法といった法律や業界ごとの自主規制等がありますが、広告表現に関しては、企業個々に判断していく必要があります。そして、その判断はその時代時代でのコンセンサス、世論とともに変わっていきます。いち早くステレオタイプ表現に対してガイドライン規制を策定したイギリスを始めとする海外での議論や裁定を知ること、先行市場の世論変化と今の状況を知ること、雑誌編集をされる皆様にとっても、有益な情報となることと考え、本セミナー内で取り上げていきます。

◆川名 周氏 プロフィール

日本広告審査機構（JARO）事務局長

株式会社博報堂入社、マーケティング職として 20 年間、様々な広告主の商品開発・コミュニケーション開発・ブランド開発に携わる。その後デジタル領域に転じ、2010 年より、エンゲージメントプランニング局長。2018 年より現職。

日々、広告・表示の適正化に携わっている。週末は駿河台大学客員教授。

2011 年アドフェスト審査員

2011 年カンヌ LIONS 審査員

共著に「自分ごとだと人は動く」（ダイヤモンド社）がある。